

平成24年3月までの4年間、前戦略に基づき、県民幸福量の最大化に向け、「経済上昇くまもと(経済)」、「長寿安心くまもと(暮らし)」、「品格あるくまもと(誇り)」、「人が輝くくまもと(人)」という4分野で12の戦略を掲げ、様々な取組みを積極的に展開してきました。

その際、戦略指標の達成状況や県民アンケートを活用した政策評価を実施し、成果重視型の県政運営を行ってきました。県民アンケートとして実施した前戦略に対する意識調査では、「熊本に生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と感じる県民が、平成23年には8割を超えるなど、目標としていた「くまもとの夢」の実現に向け着実に進んできています。

喫緊の課題として位置づけた「行財政改革」や「川辺川ダム問題」、「水俣病問題」についても、まだ解決すべき課題は残されているものの、一定の道筋がつき着実に前進しました。さらに、リーマンショックに端を発した世界同時不況や口蹄疫など、新たな課題が発生する中でも、迅速な対応を図り、本県への影響を最小限に防ぎながら、前戦略に掲げた取組みを進めてきました。

12の戦略に位置づけたそれぞれの取組みについては、「ドクターヘリの導入による“熊本型”ヘリ救急搬送体制の本格稼働」や「熊本市の政令指定都市移行」など、多くのものでその実現を図ることができました。

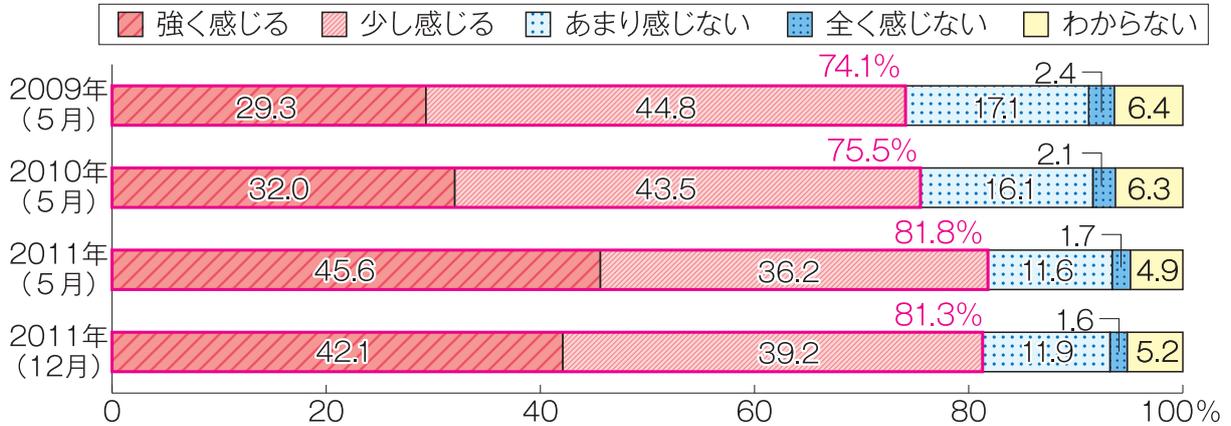
また、「全国的に立地件数が落ち込む中での企業誘致の促進」や「2層構造を持つ“熊本モデル”の認知症医療体制の構築」など成果が形になりつつある取組みや、「九州における拠点性向上に向けた幹線道路ネットワーク等の整備」や「ひとり親家庭への支援をはじめとした多様な子育て支援の充実」など、さらに進めていく必要がある取組みもあり、その進捗状況は様々です。

本戦略においては、こうした前戦略の成果と課題についての検証を踏まえ、残された課題の解決を図るとともに、その成果をより確実なものとしていく取組みを、引き続き推進していきます。

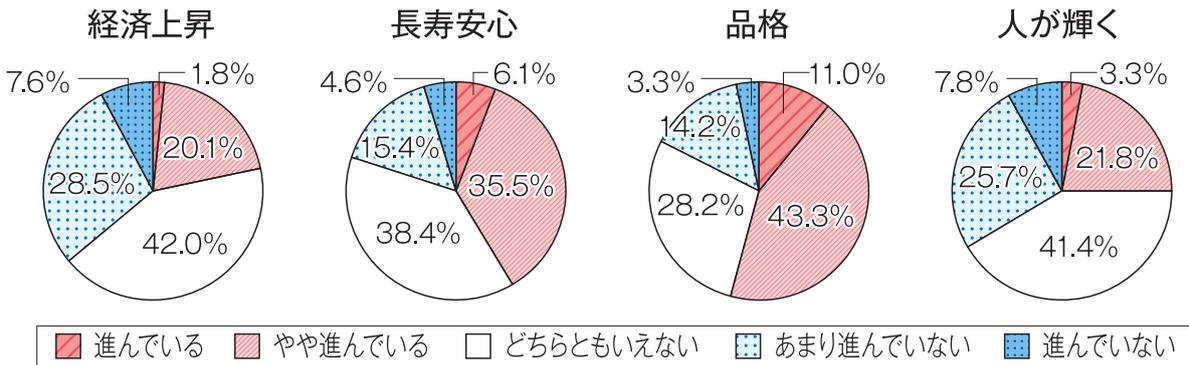
※「くまもとの夢4カ年戦略」の総括の詳細については、【参考1】(P65)を御参照ください。

県民アンケート結果

◎くまもの夢「熊本に生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」の実感について



◎4分野（経済上昇、長寿安心、品格、人が輝く）の進捗状況について



4分野における戦略指標の達成状況

分野	指標数	目標値達成	上向き	横ばい	下向き	— <sup>※2</sup>
経済上昇	10	3(30%)	0(0%)	1(10%)	6(60%)	3(30%)
長寿安心	13	7(54%)	12(92%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)
品格	13	6(46%)	9(69%)	1(8%)	2(15%)	1(8%)
人が輝く	9	5(56%)	8(89%)	0(0%)	1(11%)	0(0%)
計 <sup>※1</sup>	45	21(47%)	29(65%)	2(4%)	10(22%)	4(9%)

※1：『観光宿泊客数』を「経済上昇」と「品格」の両方で採用しているため、実数は44指標。

※2：平成20年度からの累計で示す指標。常に上向きになるため、「—」と表示。